

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 大腸憩室出血に対する内視鏡的結紮法 Endoscopic Band Ligation の有効性と安全性の検討

[研究責任者] 総合内科 岩田有里波

[研究の背景] 大腸憩室出血は大腸の憩室から出血し血便を認める疾患で、高齢化に伴い患者さんが増えてきています。自然に止まることが多いですが、一部は輸血を必要とするほどの出血を来します。また再発率も高く、入院を繰り返すことがあります。内視鏡的結紮法 Endoscopic Band Ligation (以下 EBL) とは 2000 年に報告された比較的新しい治療法で、内視鏡を使って出血している憩室をゴムバンドで縛るという方法です。従来の方よりも再発率が低いという報告があり、新しい治療方として期待されていますが、本邦ではまだ十分には普及していません。本研究では EBL の有効性と安全性を検討し、今後の医療に役立てていきます。

[研究の目的] EBL が大腸憩室出血に対し有効かつ安全な治療法であるかを検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

大腸憩室出血の患者さんで、西暦 2019 年 9 月 1 日から西暦 2021 年 3 月 24 日の間に当院消化器内科で入院された方。

●研究期間：西暦 2021 年 3 月 25 日から西暦 2022 年 5 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：なし

カルテ情報：年齢、性別、病歴に関する情報（憩室出血の既往の有無、重大な併存疾患の有無、抗血栓薬の内服の有無）、検査結果（造影 CT での血管外漏出所見の有無、下部消化管内視鏡での検査時間・出血部位の同定の可否・出血部位・責任憩室の形状）、治療経過（フォロー期間、再出血の有無、再出血までの期間）

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である当院が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

総合内科 岩田有里波

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913